

学校だより **本荘** Smile

令和5年度 第46号
令和6年2月20日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

2月の本荘小 2月の学校朝会はコミュニケーションについて。言葉には魔法があるのです。



2月の学校朝会では、こんなお話をしました。コミュニケーション能力のお話です。人はついつい、いつもの生活を送ることで安心感を得ようとする人が多いようです。私たち大人の世界も、同じ人とお話をすることの方が多いのではないのでしょうか。本荘小の児童数は少ないので、各学級では、毎日全員がコミュニケーションをとることができるような気がしますが、実際はどうでしょう。この人数であっても、「あの子とは今日お話ししなかったな」「毎日、同じ人としか話してないし、遊んでいないかもしれない」なんて思っている子どもは、意外に多いのではないかと思います。コロナ禍前は、給食をグループで食べることが日常的で、班活動も多かったと感じています。コロナが明けたとは世間でよく聞きますが、グループ活動は以前よりも減っている気がします。そんな毎日の中で、自分は普段、誰と話しているのだろうか？コミュニケーションをとっている人に偏りはないだろうか？そんな自己点検を子どもたちにしてもらいたくもあって、このお話をしたのでした。

お話の中で紹介した会社は、今までバラバラに使っていた社員食堂を給食時間のように一斉に利用するようにしました。席もくじ引きでランダムにして、好きな人同士ではない（子どもたちの席替えと同じです 笑）ようにしました。その結果どうなったかということ、違う部署の人同士が話をする中で、営業部の人だけや設計部の人だけでは発想できなかったアイデアが生まれ、その会社を代表する新商品が誕生したというのでした。素晴らしいお話だと思います。

人はついつい、安住の地を求めてしまいます。何事もルーティンに沿って、自分の力を最大限発揮できるようにすることも大事です。しかし、いつもと違う日常に出会うからこそ、新しい発想に出会ったり、その人の別の一面を認識したりすることができるのではないのでしょうか。（裏面に続きます）

言葉にはコミュニケーションという魔法があります。その魔法をいかして、自分の考えをもっともっと多様にしたり、人のとらえ方や見方・考え方を広げていったりすることこそが、コミュニケーション能力で世の中を切り拓くことができる人を育てるのだと思います。Society5.0や生成AIが世の中の中心になってくる時代はもうそこまで来ています。

だからこそ、人の力をつないで持続可能な社会を創っていくことが教育の使命なのだと思います。2月の学校朝会のお話は、そんな子どもたちの期待を込めたお話にしたつもりです。(校長)

校長先生の虫眼鏡 「2月の学校朝会 言葉の魔法について」

2月の学校朝会の全文です。ぜひ、ご家族で目を通していただいてコミュニケーションの大切さを考えていただければ幸いです。

2月学校朝会「まずはお話をしてみよう」

みなさん、おはようございます。みなさん、仲のよいお友達いますか？その友達とは休み時間におしゃべりしたり、一緒に遊んだりしていますよね。もしかして、家も近くならば、帰ってから遊んでいるかもしれませんね。それはとてもよいことです。でもね、ふりかえてみてほしいことがあります。

それは……そのお友達とばかり一緒にいて、他のお友達と遊んだりすることが、少ないということはありませんか？ということです。

どうですか、仲のよいお友達以外のお友達ともお話ししたり、遊んだりしていますか？

いつも限られた人とばかり話をしていると、話す内容が限られてきます。逆にいろいろなお友達とお話しすることで、今まで考えたこともなかったようなことに気が付いたり、新しいアイデアうかんできたりするものなのです。

せっかく同じクラスにいるのに、少しもおしゃべりをしなかったり、遊んだりしていないことはもったいないと言えるでしょうね。もちろん、よいことばかりでなく、けんかをしてしまうことだってあるということも分かったうえでです。いろいろな人と触れ合うことができると、社会に出てもたくさんいいことがあります。

ある会社でのお話です。その会社は、ある時から、学校の給食と同じで、お昼ご飯を全員で食堂に集まって食べることにしたそうです。席は、毎回くじ引きです。どうなったと思いますか？なんと、そのことがきっかけになって、すばらしい製品を開発することができるようになったということなのです。どうして、こういう結果になったのでしょうか？

会社は、学校でいうと学年やクラスが分けられているように、設計をするところ、工場で作るところ、できた製品を売る仕事の部門、お金を扱う仕事というように仕事の種類によって分けられているのです。だから、いつもは違う場所の人たちはあんまりお話をしないのです。でもお昼ご飯をみんなで食べるようになって、その垣根が外れたのでしょうか。いつもと全然違うお話をしている時に、新しいアイデア生まれたのだと思います。

みなさんは、どうですか？クラスの中で、「あー、今日一日あの子とおはなししていないや」という日はないですか？もったいないねー。仲がよい人とばかりすごすのも、いいことではあるのですが、違う人と話すことで、今まで、思い込んでいたことが、そうではなかったり、その人の本当にやさしさを感じることができたりするかもしれませんよ。もったいないねーと思われないようにしていきましょうね。一緒におしゃべりをするだけでよいのです。言葉には魔法があるのです。コミュニケーションのマジックがあるのです。

この写真を見てください。校長先生は、先週、沖縄にお仕事で行ったのですが、こんなにお仕事仲間を増やしてきました。いつもはお話しない人たちといっぱいお話をした結果です。どう思いますか。みなさんの生活も、言葉の魔法で、毎日をもっと素晴らしくなるのではないですか？これからの社会は、このようなコミュニケーション能力が必要な世の中になります。こうやっている間にも世の中はどんどん成長しています。ゲームや動画に気をとられている間に世の中において行かれないように、コミュニケーション能力を育ててほしいのです。

2月はあつという間に逃げていきますよ。悔いのない学年にするためにも、一歩踏み出してみませんか？2月も思いやりの心で笑顔の本荘小にしましょうね。